



Weekly エコノミスト・レター

ニッセイ基礎研究所 経済調査部門

日銀短観（6月調査）予測～横ばい圏内の動き

1. 7月2日発表の日銀短観（6月調査）では、大企業・製造業の業況判断DIが24と前回3月調査から1ポイントの改善、大企業・非製造業の業況判断DIは22と前回から変化なしと予想する。
2. 今回調査は、前回3月調査対比で、日経平均株価で1000円高、円ドルレートで5円以上・円ユーロで10円近くの円安水準にある。また米国経済の先行き不透明感が大きく払拭されるなど、企業マインドの回復に期待がもてる状況にある。
3. ただし、もともと回復が長期にわたり業況判断DIが高水準にあるため大きな改善を示すことは期待しにくい。その上、IT在庫の積み上がり、自動車産業を中心に輸出が鈍化し生産に一服感があること、長期金利の上昇などが景況感の下ぶれに働くため、改善幅は限定的で、全体としてはほぼ横ばい圏内との結果になると予想する。
4. 2007年度の設備投資計画は全規模・全産業で前年比6.2%と前回3月調査よりも6.5ポイント上方修正されるだろう。非製造業、中堅中小への設備投資の裾野の広がりも確認できる結果となると予想する。

		2006年		2007年	
		12月調査	3月調査	6月調査	
		最近	最近	最近	先行き
大企業	製造業	25	23	24	23
	非製造業	22	22	22	22
	全産業	23	23	23	22
中堅企業	製造業	21	16	18	17
	非製造業	7	5	6	4
	全産業	13	10	11	9
中小企業	製造業	12	8	10	8
	非製造業	-4	-6	-5	-8
	全産業	1	0	1	-2

シニアエコノミスト 矢嶋 康次 (やじま やすひで) (03)3512-1837 yyajima@nli-research.co.jp
 ニッセイ基礎研究所 経済調査部門 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7 TEL: (03)3512-1884
 ホームページアドレス: <http://www.nli-research.co.jp/>

＜日銀短観（6月調査）予測～業況判断は横ばい圏内の動き＞

●業況判断DI予測：大企業の業況判断DIは高原状態、中小・中堅は若干改善へ

7月2日発表の日銀短観（6月調査）では、大企業・製造業の業況判断DIが24と前回3月調査から1ポイントの改善、大企業・非製造業の業況判断DIは22と前回から変化なしと予想する。

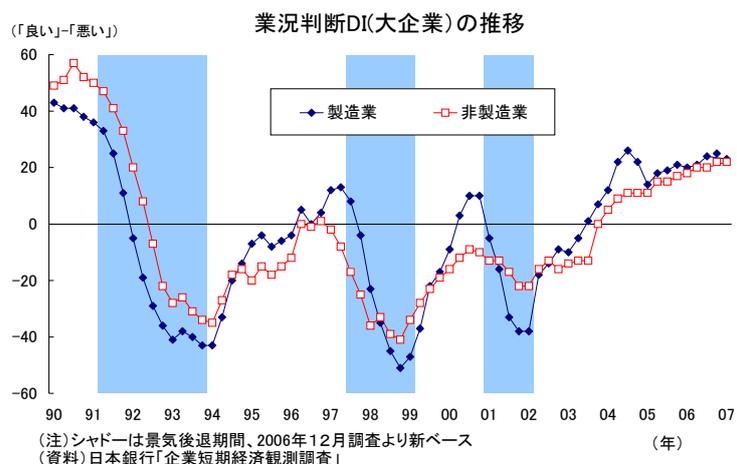
		2006年	2007年		
		12月調査	3月調査	6月調査	
		最近	最近	最近	先行き
大企業	製造業	25	23	24	23
	非製造業	22	22	22	22
	全産業	23	23	23	22
中堅企業	製造業	21	16	18	17
	非製造業	7	5	6	4
	全産業	13	10	11	9
中小企業	製造業	12	8	10	8
	非製造業	-4	-6	-5	-8
	全産業	1	0	1	-2

前回3月調査では、企業の景況感を示す業況判断指数（DI）が大企業製造業でプラス23と、4四半期ぶりに2ポイント悪化した。前回調査時期は2月末の世界同時株安の余韻が残る中、米景気の先行き不透明感や円高進行を受け、輸出関連業種を中心に景況感が下ぶれしたことが大きく響いた。

今回の短観は前回に比べると日経平均株価は1000円程度戻し、為替も円ドルレートで5円以上、円ユーロで10円近くの円安水準にある。また米国経済の先行き不透明感が大きく払拭されるなど、企業マインドの回復に期待がもてる状況にある。

足元発表された法人企業統計（07年1-3月期）では、全産業の設備投資は前年比13.6%増の17兆7287億円と過去最高額となった。また売上高は16四半期、経常利益は19四半期連続増と企業部門の底堅さも数字の上で示されている。

ただし、もともと回復が長期にわたり業況判断DIが高水準にあるため大きな改善を示すことは期待しにくい。その上①IT在庫の積み上がり、自動車産業を中心に輸出が鈍化し生産に一服感があること、②国内消費が盛り上



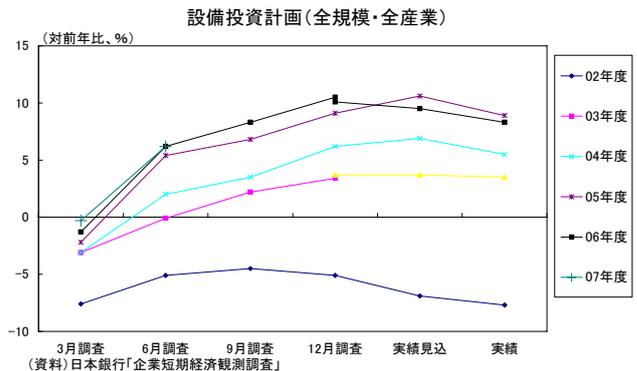
がりに欠ける、③長期金利の上昇などが、景況感の下ぶれに働くため、改善幅は限定的で、全体としてはほぼ横ばい圏内との結果になると予想する。

●設備投資・収益計画予測

2007年度設備投資計画は、大企業・中小企業ともに上方修正が予想される。この6月調査は05年度、06年度ともに比較的大きく上方修正される調査時期となっている。今年度の最終的な伸び率は昨年度よりも若干落ちると見込んでいるが、この時期は過去2年程度の修正幅となるだろう。

2007年度の設備投資計画は全規模・全産業で前年比6.2%と前回3月調査よりも6.5ポイント上方修正されると予想する。

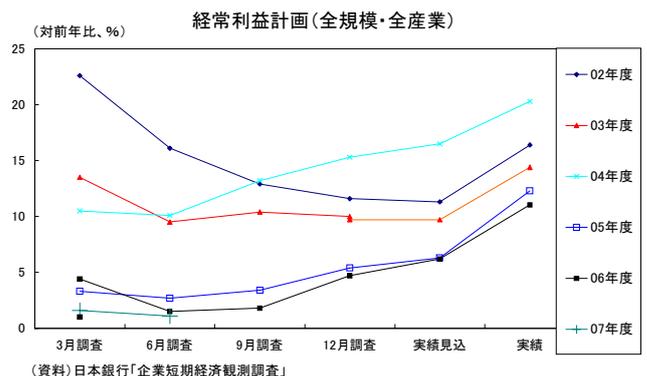
		2006年度		2007年度	
		3月調査 実績見込み	6月調査 実績(予測)	3月調査 計画	2007年度 計画(予測)
大企業	製造業	15.6	12.1	2.5	13.3
	非製造業	9.7	7.2	3.1	9.2
	全産業	11.9	8.9	2.9	10.1
中小企業	製造業	12.9	15.9	-16.5	-6.5
	非製造業	-0.5	2.5	-18.3	-9.3
	全産業	3.6	6.1	-17.7	-8.7
全規模	製造業	14.1	12.0	-0.4	8.9
	非製造業	7.1	6.1	-0.3	5.7
	全産業	9.5	8.3	-0.3	6.2



2007年度の企業収益(全規模・全産業)の3月調査は、年初としては比較的慎重なスタート(前年比1.6%)であった。ここ数年のパターンでは6月調査では3月調査横ばいないし若干の低下と慎重な動きとなる。

6月調査では前年比1.1%と3月調査から0.5ポイント低下すると予想する。ただし年度後半にかけて上方修正が続き、出来上がりとしては10%近い数値になると現時点では見込んでいる。

		2006年度		2007年度	
		3月調査 実績見込み	6月調査 実績(予測)	3月調査 計画	2007年度 計画(予測)
大企業	製造業	7.7	12.1	0.0	1.5
	非製造業	6.5	11.5	-1.3	-0.2
	全産業	7.1	11.8	-0.6	0.8
中小企業	製造業	3.6	9.8	8.8	3.0
	非製造業	2.3	7.2	6.7	3.2
	全産業	2.7	7.9	7.4	3.0
全規模	製造業	7.3	12.0	1.1	0.7
	非製造業	5.2	10.1	2.1	1.4
	全産業	6.2	11.0	1.6	1.1



(お願い)本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。

(Copyright ニッセイ基礎研究所 禁転載)